


# 東海第二発電所見学会を開催しました

参加者からのアンケート結果をお知らせします 

市エネルギー対策課では、市内に建設計画が進められている『使用済燃料中間貯蔵施設』や原子力発電施設について、市民の皆様により詳しく知っていただくために、平成19年度電源立地地域対策交付金（電源立地等初期対策交付金相当部分）を活用した事業として、『東海第二発電所見学会』を3回にわたり実施いたしました。

今年度は合計で126名の方にご参加いただきました。東海第二発電所（茨城県東海村）には、市内に建設予定の『使用済燃料中間貯蔵施設』を小型化したイメージの「乾式キャスク貯蔵施設」があり、施設内に保管されている乾式キャスクをご自身の目でご確認いただきましたが、参加者の皆様は様々なご感想を持たれたようです。

ここでは、参加者の皆様にご協力いただいたアンケート調査の集計結果と、いただいたご意見について、広く市民の皆様にお知らせいたします。

## ◎ 見学会実施日と参加者数

見学会名	日 程	参 加 者 数	
第1回見学会	10月12日（金）～ 10月14日（日）	52名	（むつ地区36名、大畑地区16名）
第2回見学会	10月26日（金）～ 10月28日（日）	49名	（むつ地区46名、大畑地区2名 川内地区 1名）
第3回見学会	11月 9日（金）～ 11月11日（日）	25名	（むつ地区22名、脇野沢地区3名）
合 計		126名	（むつ地区104名、大畑地区18名 川内地区 1名、脇野沢地区3名）

## ◎ 行程

### 【1日目】

市内各地区（むつ・大畑・川内・脇野沢）を出発 — 茨城県水戸市（宿泊）

### 【2日目】

水戸市を出発 — 東海第二発電所 — 宮城県仙台市（宿泊）

#### — 見学概要 —

- ・ 原子力発電所施設概要説明  
（日本原子力発電株PRセンター「東海テラパーク」）
- ・ 使用済燃料乾式キャスク貯蔵施設見学
- ・ 発電所構内各施設の外観見学

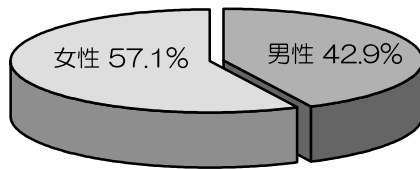


### 【3日目】

仙台市を出発 — 市内各地区（むつ・大畑・川内・脇野沢）で解散

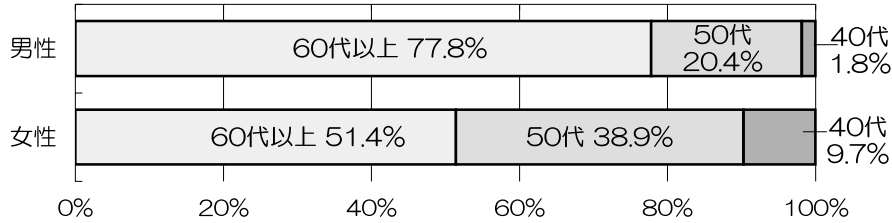
◆東海第二発電所見学会 アンケート結果（選択式部分）

Q1 あなたの性別は？



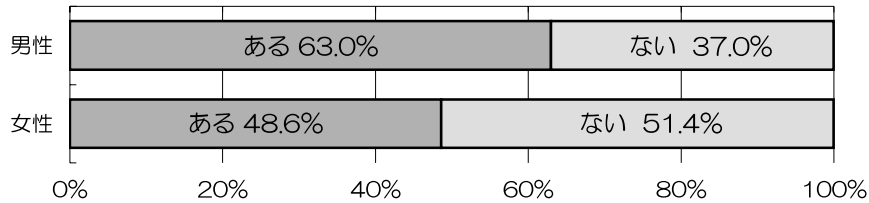
昨年より男性の見学者の割合が増えました。

Q2 あなたの年齢は？



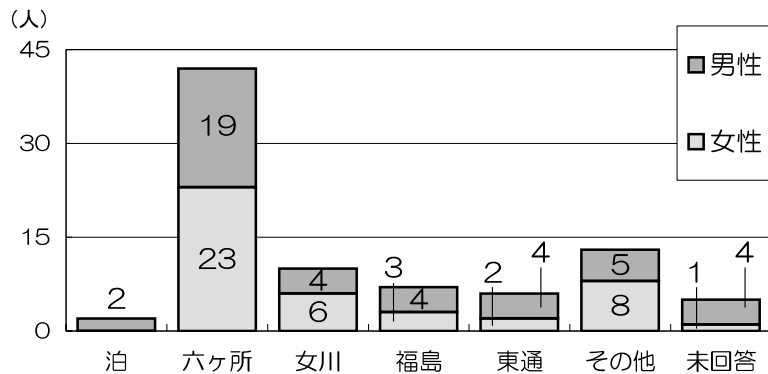
男女とも、60代の方に多数ご参加いただきました。また、残念ながら10代～30代の方のご参加はありませんでした。

Q3 原子力施設見学に行ったことは？



約半数の方が、見学したことがあると回答しています。

Q4 どこに見学にいきましたか？

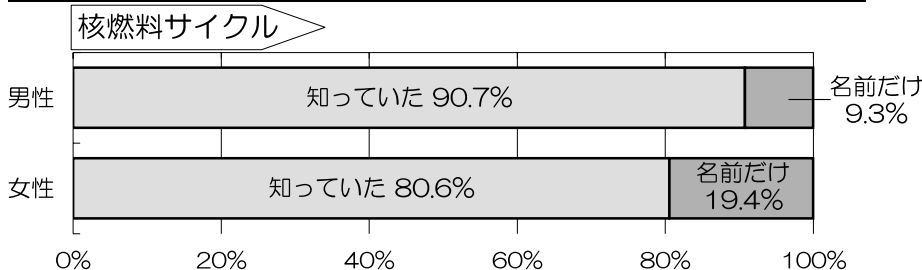


主な見学先

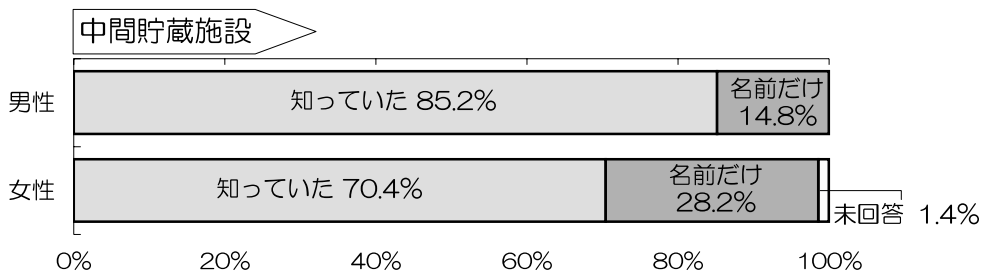
- ・泊原子力発電所（北海道）
- ・六ヶ所原子燃料サイクル施設
- ・女川原子力発電所（宮城県）
- ・福島第一、第二発電所（福島県）
- ・東通原子力発電所

その他には敦賀原子力発電所（福井県）や柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）などがありました。

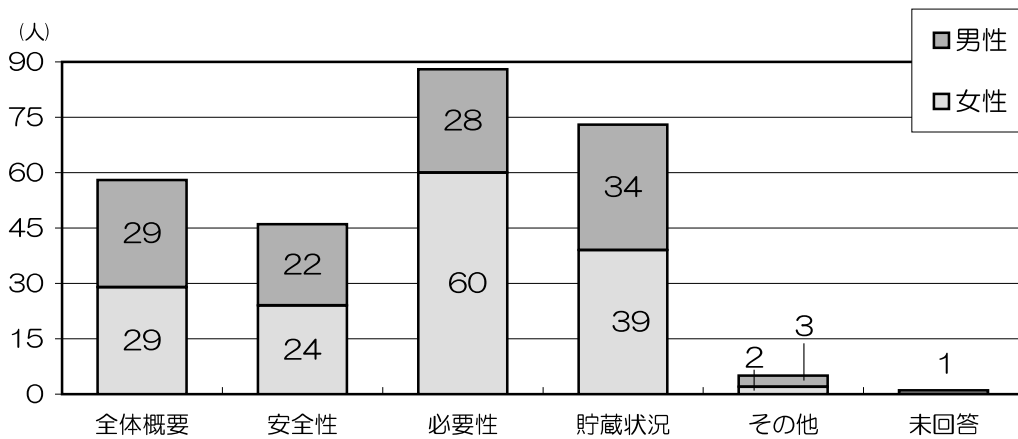
Q5 核燃料サイクルおよび中間貯蔵施設を知っていますか？



たくさんの方が、「核燃料サイクル」、「中間貯蔵施設」についてご存知でした。

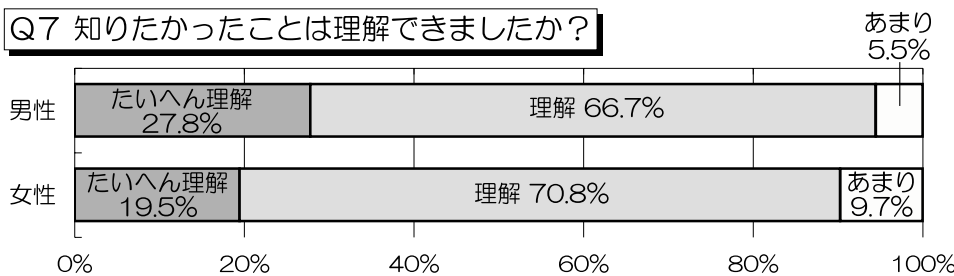


Q6 中間貯蔵施設について知りたかったことは？



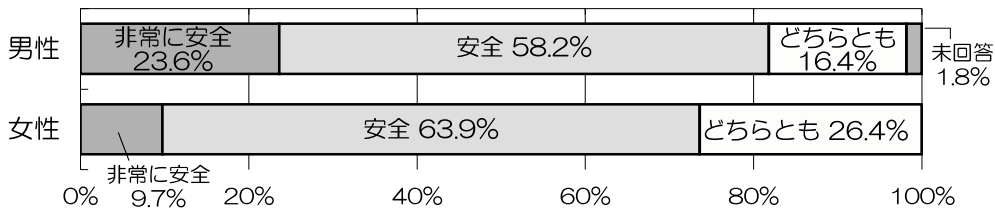
その他の意見には「トラブル時の対応策」などがありました。

Q7 知りたかったことは理解できましたか？



あまり理解できなかったと回答した方の中には、一度の見学では難しかったと答えた方もいらっしゃいました。

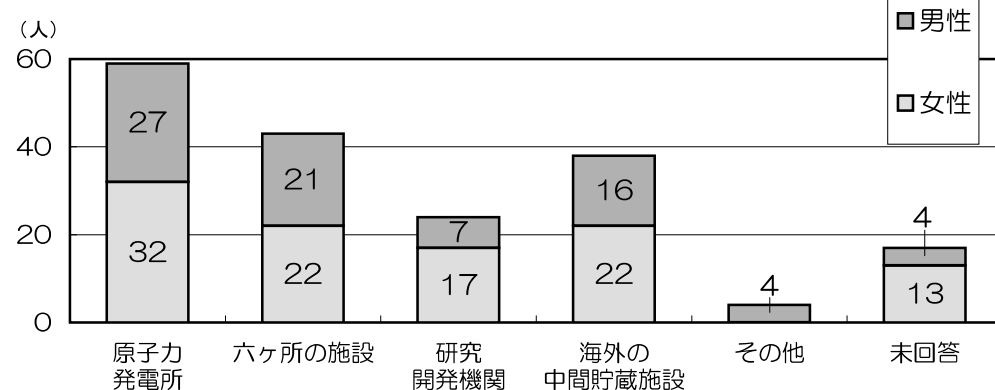
Q8 キャスクの安全性については？



男女とも半数以上の方が安全と答えています。

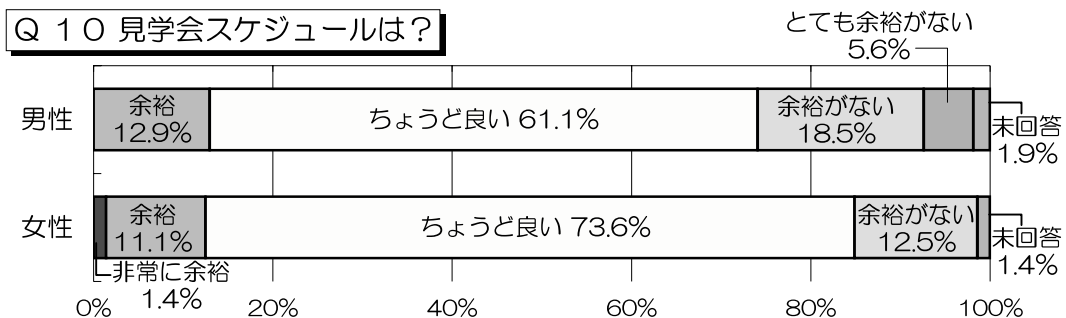


Q9 今後見学したい施設は？



原子力発電所を見学したいのご意見は男女とも多くありました。また実際に運転している様子を見たいのご意見もありました。

Q10 見学会スケジュールは？



7割以上の方から、スケジュールはちょうど良いとの回答をいただきました。



## ◆東海第二発電所見学会 アンケート結果（記述式部分）

Q11 「使用済燃料中間貯蔵施設」「核燃料サイクル」「原子力発電所」等原子力関連施設の理解を深めるうえで、知りたい情報や手に入れたいパンフレット等がございましたら、お知らせください。

- ・ ウラン、プルトニウムについてもっと知りたい
- ・ 地元への経済効果について
- ・ 安全に対する説明と事故に対する処理等
- ・ 原発関係の事故等の内容、対処について
- ・ 使用済燃料と中間貯蔵量のバランスと明細な数量

Q12 ご感想、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ バスの中で、ビデオのキャスクの製造過程を見て安全第一とされていること。地球温暖化の今日、CO<sub>2</sub>の少ない原子力発電が1番よいと思います。
  - ・ 中間貯蔵施設がなぜ必要なのか、広報だけでは理解し難いものでしたが、実際見て分かりやすい説明を聞くことにより理解できました。
  - ・ 原子力に対することを国民の皆さんの理解を得るためには、実際に施設にきて自分たちで見て感じていただく事が一番と思った。
  - ・ 今回の見学で何重もの遮へい、臨界防止とキャスクのこととか大変勉強になった。
  - ・ 以前原子力発電関係（機器製造）の仕事をしていたので、ある程度の知識はありましたが、燃料のリサイクルは今回新たなものがわかったような気がしました。
  - ・ 機器等が最新で安全性が高くても、それを運用、管理する人間の安全に対する意識が低ければ意味がなく、十分な教育、訓練等で高い安全意識を持ってもらいたい。
  - ・ 事故、故障があれば必ず施設が責任を問われますが、建設に係わった全ての会社が責任を持って安全な物を建ててほしい。
  - ・ 施設の安全性を念頭に置き見学してきましたが、安全性の確保が充分であったと感じられた。エラーがあったとしても早期に対応する装置が設置されて安全性が講じられており安堵した。
  - ・ 私は参加する前には貯蔵施設は非常に危険だと思っていました。今回参加して安全性を確認して良かったです。
  - ・ 生まれ育った地区にキャスク貯蔵施設が出来ることで恐れと不安の気持ちで見学に参加しました。説明会での安全性に対し自分的に理解出来たと感じました。
  - ・ 今度、関根地区にキャスク貯蔵施設が出来ると言うことでキャスクとはどういうものか、また本当に安全なのか、キャスクそのものを見たくて参加しました。説明会での安全性は私なりに理解しました。
- ※ Q11とQ12については、他にも多数の貴重なご意見をいただきましたが、紙幅の都合上、すべてを掲載することができませんでした。今回いただいたすべてのご意見については、今後の活動の参考にさせていただきますので、ご了承願います。

市エネルギー対策課では、今回の参加者アンケートの結果を参考にさせていただき、今後も原子力発電に関する理解を深めていただけるような各種イベントや見学会を企画して参りたいと考えております。

ご意見やご感想などがございましたら、下記のお問い合わせ先まで、ご連絡くださいますよう、よろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

むつ市企画部エネルギー対策課

TEL：22-1111（内線231）